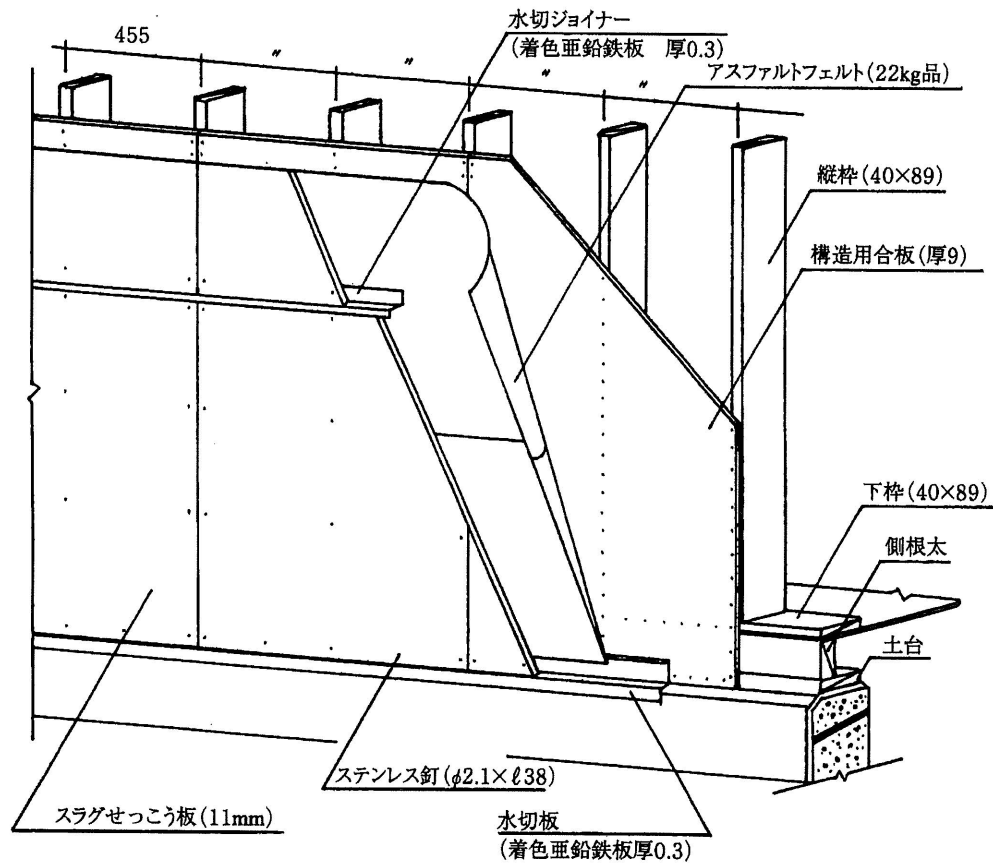


PC030BE-9043

・認定した構造内容又は建築材料の内容(寸法単位: mm)

1. 部分、防火性能の区分 木造下地防火構造
2. 試験機関名 財団法人試験センター中国試験所 受託番号 依試第3173号
3. 構造説明図(単位 mm)

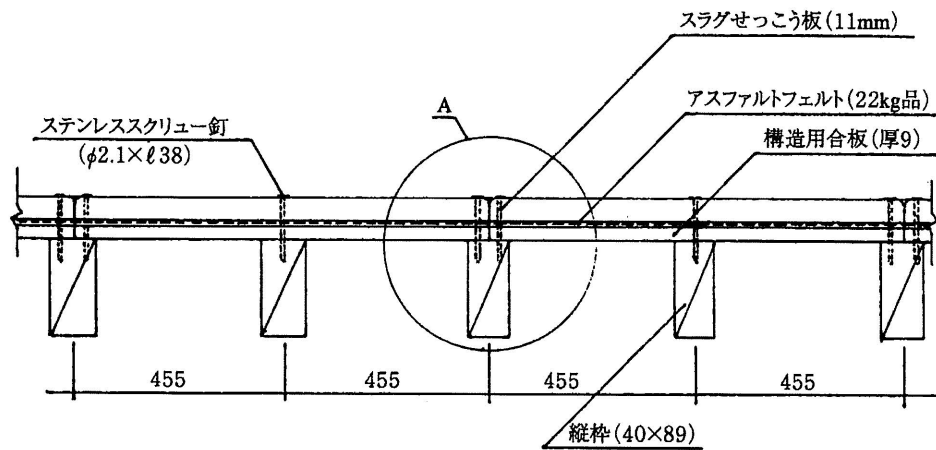
(1) 見取図



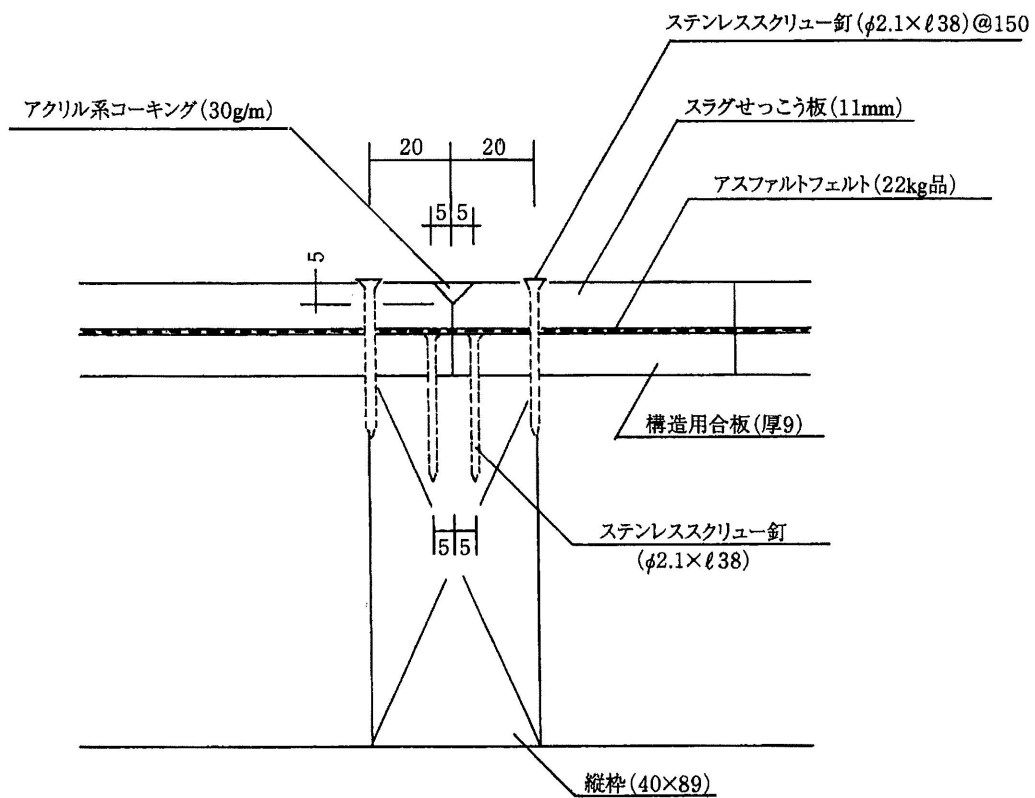
<屋内側の被覆(次のいずれか)>

- ①グラスウール(75mm)を充填した上にせっこうボード(9.5mm)を張ったもの
- ②ロックウール(75mm)を充填した上にせっこうボード(9.5mm)を張ったもの
- ③ロックウール(75mm)を充填した上に合板(4mm)を張ったもの

(2) 水平断面図



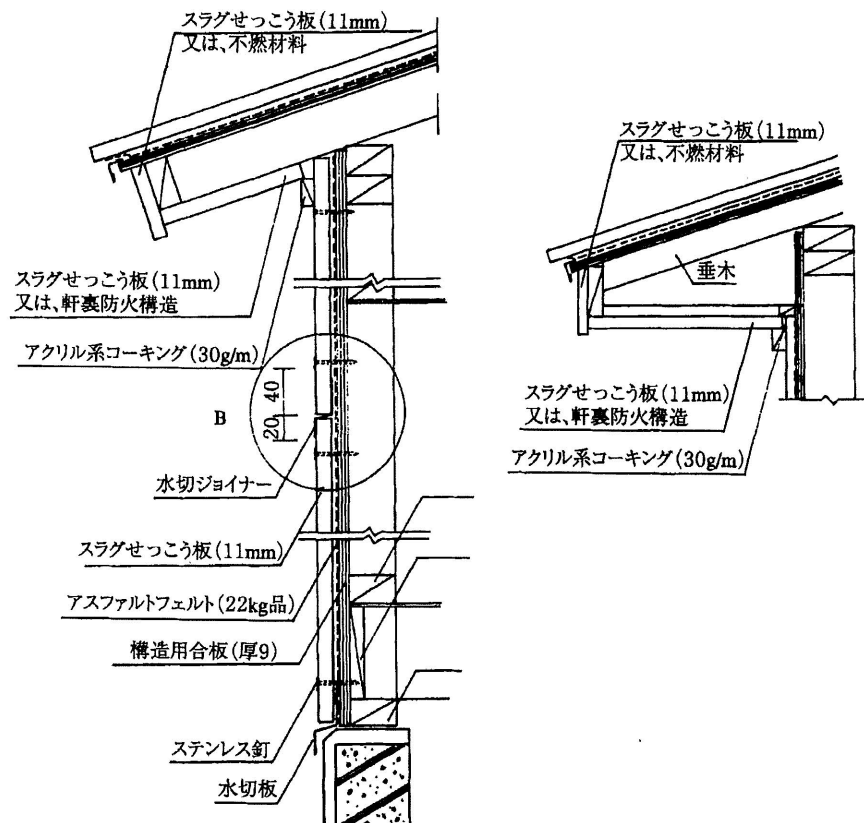
A 部詳細図



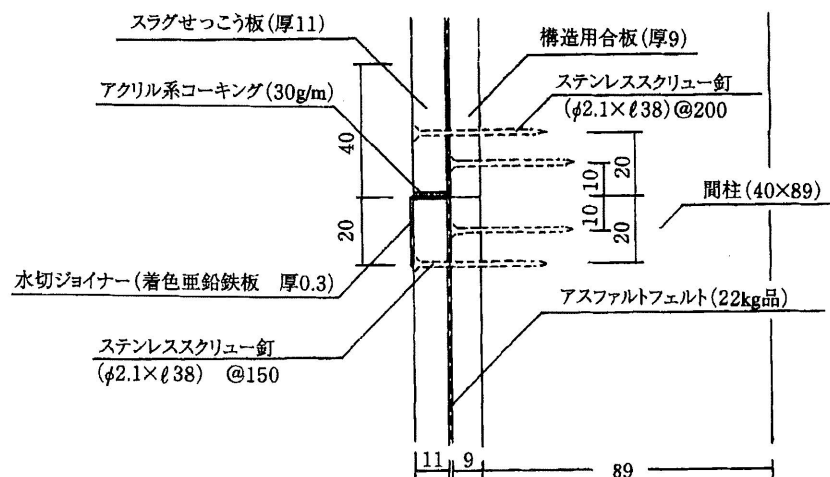
<屋内側の被覆 (次のいずれか)>

- ①グラスウール (75mm) を充填した上にせっこうボード (9.5mm) を張ったもの
- ②ロックウール (75mm) を充填した上にせっこうボード (9.5mm) を張ったもの
- ③ロックウール (75mm) を充填した上に合板 (4mm) を張ったもの

(3) 垂直断面図



B部詳細図



<屋内側の被覆(次のいずれか)>

- ①グラスウール(75mm)を充填した上にせっこうボード(9.5mm)を張ったもの
- ②ロックウール(75mm)を充填した上にせっこうボード(9.5mm)を張ったもの
- ③ロックウール(75mm)を充填した上に合板(4mm)を張ったもの

4. 材料等説明

4. 1 主構成材料

(1) スラグせっこう板(不燃第1030号 2種)

(イ)形状、寸法

厚 さ $11 \pm 0.5\text{mm}$ 、 $12 \pm 0.5\text{mm}$

大きさ 標準寸法 $910 \times 1820\text{mm}$

最大寸法 $1210 \times 2730\text{mm}$ ± 1

(ロ)組 成(wt%)

せっこう 41%

スラグ 41%

耐アルカリガラス繊維 5%

パーライト 5% (JIS A 5007 S種 0.15~1.2)

パルプ 5% (故紙)

石 灰 3% (JIS R 9001 消石灰特号)

(ハ)性 能

かさ比重(絶乾) 1.0 ± 0.1

曲げ強度 100kg/cm^2 以上 (JIS A 1408 4号試験体)

含水率 12%以下(出荷時)

重 量 11.0kg/m^2 (11mm)、 12.0kg/m^2 (12mm)

(2) 防水紙

アスファルトフェルト 22kg品以上

(3) 下地材

縦 枠 $40 \times 89\text{mm}$ 以上

構造用合板 JAS特類又は1類の9mm又は12mm

枠組壁工法 昭和57年建設省告示 第56号による

4. 2 副構成材料

(1) 釘

ステンレススクリュー釘 $\phi 2.1\text{mm} \times 38\text{mm}$ 平頭

(JIS A 5554)

(2) コーキング

アクリル系コーキング……塗布量 30g/m

(JIS A 5758)

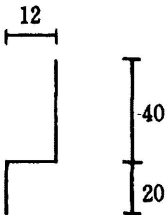
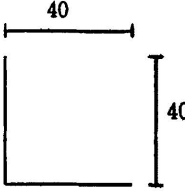
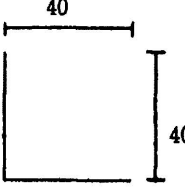
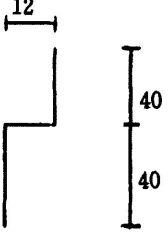
(3) ステープル

幅 12mm 高さ 10mm

(4) ジョイナー

着色亜鉛鉄板 厚さ0.3mm以上

(JIS G 3312)

名 称	断面形状	寸 法 mm
水切ジョイナー		厚 長 0.3×1820
出隅ジョイナー		0.3×1820
入隅ジョイナー		0.3×1820
土台水切 ジョイナー		0.3×1820

5. 標準仕様(施工仕様)

(1) 下 地

枠組壁工法 昭和57年建設省告示第56号による。

イ) 下地は、寸法40×89mm以上の縦枠を使用し、455mm以下の間隔に配置する。

ロ) 構造用合板は、JAS特類又は、I 類の9mm又は12mmを使用し、縦枠に直接取り付ける。

ハ) 釘打は、ステンレスクリュー釘(φ2.1×ℓ38)を外周部100mm間隔以下中間部200mm間隔以下に打付ける。

ニ) アスファルトフェルト(22kg品以上)は横張りとし、継目部分は縦、横共150mm以上重ね合せてステープルで止め付ける。(ピッチ455mm以下)

ホ) 水切板 着色亜鉛鉄板(厚さ0.3mm以上)は、水平を確認しながら土台に取付ける。

(2) スラゲせっこう板の取付

イ) 釘はステンレス釘(φ2.1×ℓ38)を使用し所定の位置へ止め付ける。

ロ) 釘打のピッチは、縦方向に455mm以下ごととし、幅方向に150mm以下で止める。(但し製品の端部より25mm以上はなれた位置に止める)

(3) 目地処理

イ) 横目地部には、アクリル系のコーキング(30g/m)を塗布し、ジョイナーを用い納める。

ロ) ジョイナーは、横目地部に水切ジョイナー、出隅部に出隅ジョイナー、入隅部に入隅ジョイナーを用いる。

ハ) 縦目地部標準品を45°の角度で深さ5mm程度の面取りを行ないその部分にアクリル系コーキングを塗布(30g/m)して仕上げる。

(4) 表面仕上げ

防火上支障のない材料にて表面仕上げを行なう。

6. 留意事項

(1) 保管に関する事項

保管の際は、水・湿気を避け平らな所に積み重ねる。

(2) 運搬に関する事項

持ち運ぶ際は、面を垂直に持ち特に角部に衝撃を与えたり、面に傷をつけないよう注意する。

7. 付帯条件 な し

8. 注意事項

当該認定書において、「建築基準法の一部を改正する法律」(平成10年法律第100号)による改正前の建築基準法の規定による建設大臣の認定仕様がある場合は、平成14年6月1日以降は「建築基準法の一部を改正する法律」(平成10年法律第100号)による改正後の建築基準法の規定による当該認定仕様に係る国土交通大臣の認定仕様を用いるものとする。